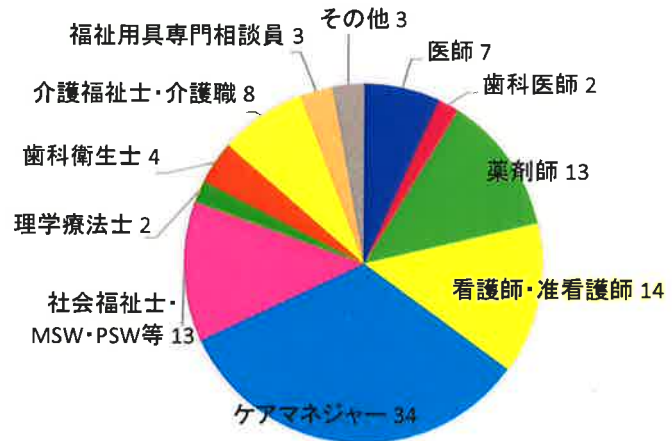


出席者 103名

医師	7
歯科医師	2
薬剤師	13
看護師・准看護師	14
ケアマネジャー	34
社会福祉士・MSW・PSW等	13
理学療法士	2
歯科衛生士	4
介護福祉士・介護職	8
福祉用具専門相談員	3
その他	3
計	103

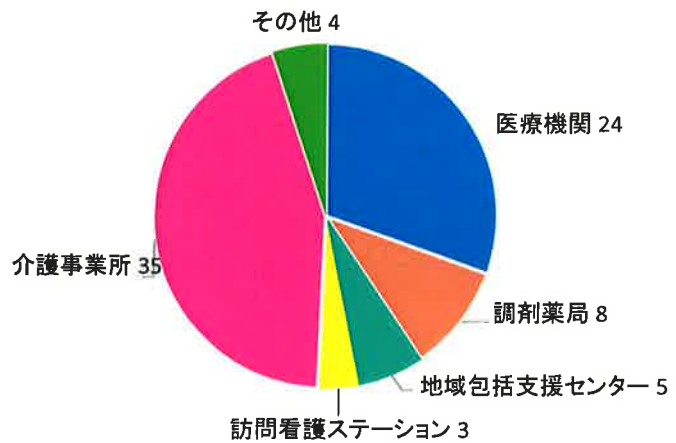


アンケート回収 79名

アンケート回収率 76.7%

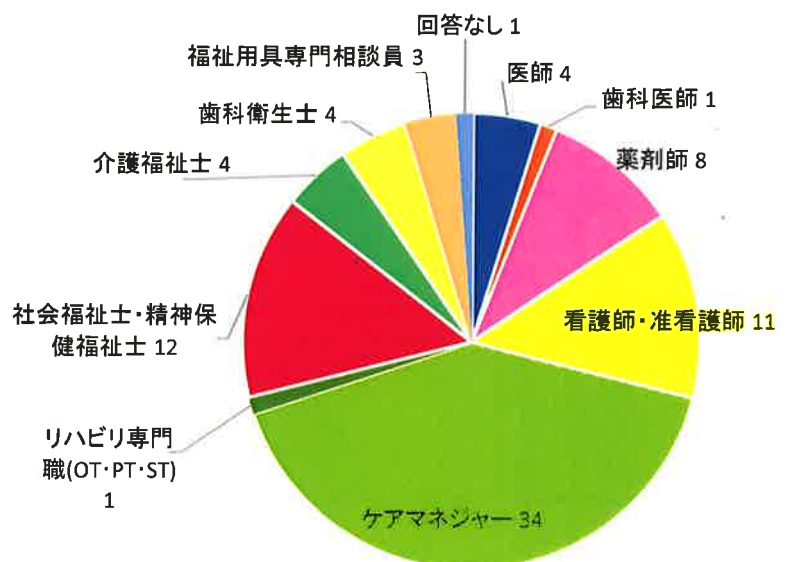
1、所属

医療機関	24
調剤薬局	8
地域包括支援センター	5
訪問看護ステーション	3
介護事業所	35
その他	4
計	79



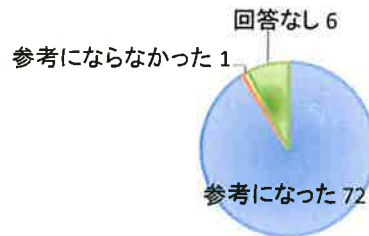
2、職種（重複あり）

医師	4
歯科医師	1
薬剤師	8
看護師・准看護師	11
ケアマネジャー	34
リハビリ専門職(OT・PT・ST)	1
社会福祉士・精神保健福祉士	12
介護福祉士	4
歯科衛生士	4
福祉用具専門相談員	3
回答なし	1
計	83



3、①本日の研修会はいかがでしたか

参考になった	72
参考にならなかった	1
回答なし	6
計	79



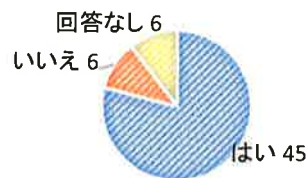
3、②「退院調整ルール」という言葉を知っていましたか

はい	45
いいえ	31
回答なし	3
計	79



3、③退院調整ルールを使用したことはありますか

はい	45
いいえ	6
回答なし	6
計	57



※「はい」と答えた方のみ ④使用する前より連携がとりやすくなりましたか

はい	38
いいえ	3
回答なし	4
計	45



3、⑤今後仕事をしていく上で、今日学んだことを今後活かそうと思われましたか

はい	72
いいえ	1
回答なし	6
計	79



4、本日の講演会の感想をご記入ください

- 介護事業所側からの情報もいかに必要かと感じさせられました。今後もケアマネさんとの情報共有を大切にしていきたいと思いました。
- 現在基本的な連携は行っているのですが、もう少し踏み込んだ話が聞きたかった。
- 以前より入院前にケアマネより情報提供が頂けるようになった。在院日数が短いので、退院報告が直前になりがちです。
- 病院MSWへCMから求められる声を知ることができて参考になった。今後の業務に活かすことで、患者さんにとってスムーズな退院やサービス調整が進められるようにしていきたい。
- 連携シート等PDF(メール)などでやり取りができると思っと良いと思う。又、ネット上などがとりやすい。
- 退院時の調整について、支援の情報の中で院内での投薬の種類情報は厚いが、引き継ぐ居宅担当の薬剤師まで、投薬状況や形態、どこまでの分包なのか別包なのか、細かい方ですが、患者にとっては重要で細かいルールの取り決めを希望します。
- 今日、今までよりも病院と家族の関係が作れず、SWと家族との退院調整が困難ではないかと思えます。CMも一緒です。1人1人必要な情報が違うと思えますので、どれだけ伝えられているかが私は心配です。医療と介護の考え方が違うので…。
- 久留米市にこのようなルールがある事を知り大変勉強になりました。このルールが幅広く介護・医療のサービス事業所に周知していただければと思います。

- ケアマネの探し方が良く分からない。入院してくる患者さんの半数以上が介護申請していない、要介護についてもケアマネをどこにお願いしたらよいか判断に迷う。
- 入退院調整ルールができ、ケアマネとの連携が増えたと思います。引き続きケアマネさんと連携をとれるよう関わっていきたいと思いました。
- グラフが「全国」「久留米」「福岡」などバラバラでどことどの比較か分からなくなったところがありました。
- 居宅療養される方が増えていく中で、よりよいまたは一見以上の医療を受けていく為のルール化は重要であり、参考となる点が多々あった。ルール化することで医療従事者のバーンアウト等を減らすこともできるのではないかと思った。
- 令和元年の年末から急にケアマネさんへの連絡(入院時)を上長から支持され、正直根拠もわからず、診療点数が取れるのだからくらいの気持ちでやっていたので、部下への指導も詳しくできないままでした。今回の講演会で理解が深まりました。ありがとうございました。
- アンケートがあり、現場の意見が聞けてよかったです。
- 時代の移り変わりが早いのでルールの進化、深化を期待します(タイムリーに!)
- タイムリーなテーマで役に立った
- 入院時情報提供の為に病院へ伺うが、SWがついていなかったり、どの人と連携をとったら良いのかわからない時がある。又こちらから質問や相談をしない限り、返答がない病院もある。もっと連携がとりやすくなればと思う。本日の講演では病院側視点で必要な情報を知ることができ良かった。今後にかさそうと思う。
- 入退院調整ルールが施行された経緯が分かりました。医療と介護の連携は必要だし、大切なことなのでお互いに理解し、又制度化することでスムーズにいくのではと感じます。
- もう一度お話を聞けたらと思います。
- 「保険証セット」の啓発が望まれます。
- アンケートは包括に届いていないのでは?となると支援の数もちろん少ないのでは
- 「退院調整ルール」という存在を知りませんでした。「本日退院したので」と本人とご家族が福祉用具を見に来られる事があり(入浴動作が不安、歩行器が欲しいなど)在宅生活に向けてどのように動きをされているのかも知りたかったです。→ターミナルで退院して、ベットが必要で介護保険の認定を持たず、申請の仕方からご紹介したこともありました。
- 二年前に比較して確かにルールが出来て、徹底されてきました。定期的に退院ルールの研修会が必要と思いました。
- 今回退院調整ルールにあたって、なぜ導入されたか、導入された結果どうなったかが分かり良かったです。退院調整ルールがあり、助かってます。
- 口腔内をケアマネさんに把握して頂くことがもっともっとでき、入退院時の引継ぎに記入してもらえるように頑張っていきたいと思いました。ありがとうございました。
- 時間が長い
- 病院によっては書面を持って行っても書面に記載している内容を何度かTELにて聞かれることがあったりもするので浸透していけば良いと思う。医療機関側からの視点(入院時連携状況について)の不足していると感じる内容については入院してはじめて考える内容、それまでは在宅生活をされていたので、特に意向などは事前にはほとんどとらないと思われる。
- とても分かりやすかったのですが、まだまだ現場では不明な点、戸惑う点が多いと思います。
- お互いの認識ができてきた事で、情報提供や情報収集もしやすくなったと思います。以前のように慌てなくなりました。この状況がもっとスムーズになっていけば良いと感じています。
- 最後にも少し触れられていたように、病院・診療所にとっては主な窓口がないケースも多々見られ、加えて調整の専門家がないため一緒に取り組みが必要と感じた。
- 退院調整ルールの手引きはいつも活用しています。振り返りができて良かったです。
- 病院相談窓口一覧があると、入院時等の在宅情報提供がスムーズに行える。病院によってはどこに情報提供すればいいのかわからない場合があるため。
- 参考になりました。在宅でのADL状況等の情報も入院先と共有できれば、在宅生活をイメージした具体的なアプローチが病院でもできるのではと思いました。
- 以前に比してスマートな説明がデータを基にできているような気がします。
- まだまだしっかりと普及されていないと思います。病院側のMSWさんが患者様の在宅復帰がどういう事なのか分かっていないことが多いようです。しっかり調整を行って頂くようなルールがある事を医療従事者も理解を深めてほしいと思います。
- 薬剤師が入る所が少ない所だとは思っていますが、患者様へのアドバイスとして役立てていけたらと思います。
- お薬手帳に薬での副作用、アレルギーの記載、保険証セットについての声掛けをしようと思いました。担当ケアマネさんの名刺はあまり入っているのを確認したことがありませんので声かけ致します。
- 法律ができてからルールができるまでが分かりました。活用していきます。活用していましたが良く分かりました。ありがとうございました。

5、研修会に関する日時・場所、その他のご意見やご要望がございましたら、ご記入ください

- 日頃からCMさんへの情報提供は細目にするよう心掛けてはいるが、退院前のカンファレンスについては必要時の開催とさせてもらっています。福祉用具の準備のみの方の場合省略させて頂くこともあり。病院側とCM側とでの考え方のギャップ等そういった場合もCMさん側には困ったりされることもあるのか等CMさんよりMSWへ改善して欲しい点がある時は是非声を聞きたいと思います。
- 年金について勉強したい
- 研修会以外に年に1, 2度合同説明会及び意見交換会があれば、もっと顔の見える関係が築けるのではと思います。支援が必要な人に適切に対応する為にも必要かと思います。
- 暖房をもう少し低くても構わないと思います。ちょっと暑いかと…。
- 18:30~21:00の間であれば比較的参加できる人が多いのでは?と思う。又土日より平日の方が良い。
- 月曜日でなく、週中間が良いかなとも思いましたが、参加するのに本日でも良かったので、月中旬以降がいいと思っていました。場所とても良いです。